

◎株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金支払 株主確定日	9月30日
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
<お問い合わせ先>	TEL 0120-232-711 (通話料無料)
〈各種手続〉 用紙のご請求	TEL 0120-244-479 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
ホームページ	http://www.taihonet.co.jp/

 大豊工業株式会社

お問い合わせ TEL (0565) 28-2225 総務部広報室

第100期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日
証券コード 6470

CONTENTS

- ◎株主の皆様へ
- ◎営業の概況
- ◎中期経営計画
- ◎TAIHOの動き
- ◎製品のご紹介
- ◎グローバルネットワーク
- ◎業績ハイライト
- ◎セグメント情報(連結)
- ◎連結決算の概要
- ◎単独決算の概要
- ◎株式の概況
- ◎会社の概況
- ◎株主メモ



 大豊工業株式会社

◎株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社の第100期（平成17年4月1日から平成18年3月31日まで）の決算の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成18年6月

取締役社長
高橋 清八



◎営業の概況

当社の置かれた環境

当期のわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の拡大を背景に堅調に推移してまいりましたが、一方では原油価格や原材料価格の高騰など不安定要因も多く、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

自動車業界におきましては、四輪車全体の国内生産台数は欧州、中南米向け等の海外販売の好調から輸出が増加し、また世界生産台数におきましても前期を上回りました。

当社の取り組み

今年度の具体的実施事項としましては、'05年4月にエンジンベアリング、アルミダイカスト製品等の自動車用部品の生産拡大への対応と競争力強化に向けた生産効率の向上を目的として、岐阜県可児郡御嵩町に「大豊岐阜株式会社」を設立、'06年1月には同社敷地内に第2工場の建設を着工し、'06年8月に竣工の予定です。また、'03年11月に関連会社とした日本ガasket株式会社に対して、更なるガasket事業の競争力強化を目的として'05年10月に株式交換により、100%子会社化を実施しました。

当期の業績

当期の連結業績につきましては、大豊精機株式会社において、部品事業の生産が本格化したこと、大豊岐阜株式会社において、軸受およびアルミダイカスト製品の生産を開始したこと、日本ガasket株式会社を子会社化したことなどにより、連結売上高は、957億3千万円となり、前期に比べ190億6千万円（前期比24.9%増）の増収となりました。製品

部門別にみますと、軸受製品では303億5千万円(前期比9.1%増)、ダイカスト製品では186億8千万円(前期比12.4%増)、ガasket製品では63億8千万円(前期比106.1%増)、組付製品他では130億1千万円（前期比49.3%増）、設備・金型製品では268億6千万円(前期比33.8%増)となりました。連結営業利益は、原材料価格の上昇、減価償却費および新製品立上げ費用等の増加がありましたが、増産効果およびグループあげての原価改善等により、31億3千万円となり、前期に比べ7億8千万円（前期比33.3%増）の増益となりました。連結経常利益は、支払利息等の増加による減益要因がありましたが、為替差益の増加などにより、32億1千万円となり、前期に比べ6億3千万円（前期比24.5%増）の増益となりました。連結当期純利益は17億8千万円となり、前期に比べ6億9千万円（前期比64.1%増）の増益となりました。

当期の配当金につきましては、昨年11月に中間配当金として1株につき9円をお支払いさせていただきましたが、期末の配当金につきましては、1株につき9円とし、年間といたしましては前期に比べ1円増配の1株につき18円とさせていただきます。

次期の業績につきましては、連結売上高は1,050億円(前期比9.7%増)、連結営業利益は40億円（前期比27.7%増）、連結経常利益は40億円（前期比24.4%増）、連結当期純利益は24億円（前期比34.7%増）を見込んでおります。

今後の経営環境および当社の展開

国内の企業収益が改善していることから、国内景気は引き続き緩やかな成長が続くものと思われます。自動車業界におきましては、世界経済の景気回復および新興国での需要増加を受けて自動車販売の堅調な伸びが期待される一方、部品メーカーのグローバルな受注競争が一層厳しくなるものと思われます。このような経営環境のなかで、当社は更なる事業の成長および経営基盤の強化のため、'06年度から'08年度に向けて新たな中期経営計画を策定し、次なる発展に向けて本年度よりスタートしております。

◎中期経営計画

経営方針

技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く

スローガン

「自ら創造、自ら挑戦」

●中期達成目標

- ①環境、安全、コンプライアンスが浸透した風土づくり
- ②技術・品質、No.1の商品づくり
- ③スクラップ&ビルドによる経営資源の集中と、高収益体質づくり
（事業別経営戦略と、グループ経営の強化）
- ④世界競争を勝ち抜く人材の育成と組織づくり

◎TAIHOの動き (2005年4月～2006年3月)

「大豊岐阜株式会社」第2工場を建設

当社子会社の「大豊岐阜株式会社」は、エンジンベアリングの生産能力の拡大、および競争力強化に向けた生産効率の向上を目的として、第2工場の建設を開始いたしました。第1工場はアルミダイカスト製造等の生産拠点として2005年8月に竣工しております。今回新たに建設する第2工場は、最新鋭の生産ラインを備えたエンジンベアリング生産拠点として、2006年8月に竣工を予定しています。



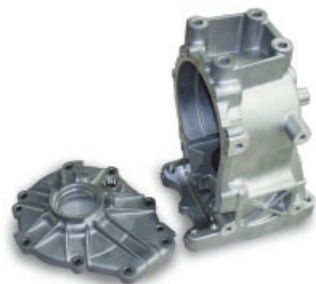
社名：大豊岐阜株式会社
 所在地：岐阜県可児郡御嵩町御嵩2188番地6
 設立日：2005年4月1日
 出資比率：大豊工業株式会社100%
 業務内容：エンジンベアリング、アルミダイカスト製品等の製造
 売上高：7億3千7百万円（2005年度）
 （28億円：2006年度見通し）

■大豊岐阜株式会社的主要製品

●エンジンベアリング



●デフキャリア



●OCVスリーブ



ガスケット事業の機能集約による事業強化

当社は、2005年10月1日をもって「日本ガスケット株式会社」を完全子会社化し、当社のガスケット事業を日本ガスケット株式会社へ統合いたしました。

2006年5月には当社の営業・開発・生産機能を日本ガスケット株式会社に集約。開発の効率化スピードを促進させ、生産効率を一層高め、コスト競争力を上げてガスケット事業の更なる強化を図ってまいります。



社名：日本ガスケット株式会社
 所在地：大阪府東大阪市加納2丁目1番1号
 設立日：1947年9月
 業務内容：ガスケット製品等の製造
 売上高：70億4千万円（2005年度）
 （94億円：2006年度見通し）

「大豊精機株式会社」部品事業を新規展開

当社子会社の設備メーカー「大豊精機株式会社」は自動車用部品の生産を主な目的として、豊田花本地区工業用地34,700㎡に新本社工場を設立いたしました。

『パイプ液封成形技術』を用いて新規展開した部品事業は、2006年度で50億円の売上高となる見通しです。



■新プレス成形工法による製品

●フロントロアアーム



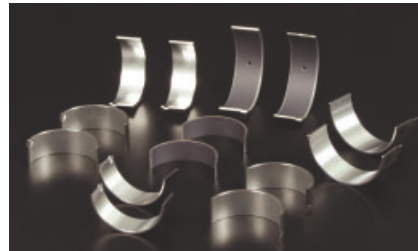
●アクスルビーム



◎製品のご紹介

■ エンジンベアリング

半世紀に及ぶトライボロジー（摩擦技術）の研究成果と材料からの一貫生産による高性能、高品質エンジンベアリングは世界中の自動車メーカーから高く評価されています。



とくに、世界に先駆け、開発・量産実用化に成功した「鉛フリーエンジンベアリング」は、次世代のベアリングとして注目を集めています。

■ ブッシュ・ワッシャ

多様なニーズに応える豊富なバリエーション。高度な摩擦技術に基づき、さまざまな使用部位に応じた材料、形状をご提案。エンジンベアリング同様、鉛フリーブッシュのラインナップも充実しています。



■ 特殊軸受

カーエアコンの主流である斜板式コンプレッサーに使用される特殊軸受では、その性能の高さが認められ、グローバルスタンダード製品となっています。



■ メタルガスケット

アルミ製シリンダヘッド用としては世界初の画期的な一層メタルヘッドガスケットなど、つねに新たなコンセプトによる製品づくりをめざし、市場の高い評価を得ています。



■ EGRバルブ／アクチュエータ

過酷な環境下で確実な作動を要求されるEGRバルブやターボチャージャー用アクチュエータなど、摩擦技術の応用と高度な製造技術によって各種高性能部品を製造しています。



■ アルミダイカスト製品

高精度、高強度、複雑形状など、これまでダイカストでは困難とされてきたさまざまな製品に挑戦し、その高度な技術力で付加価値の高い製品を生み出しています。



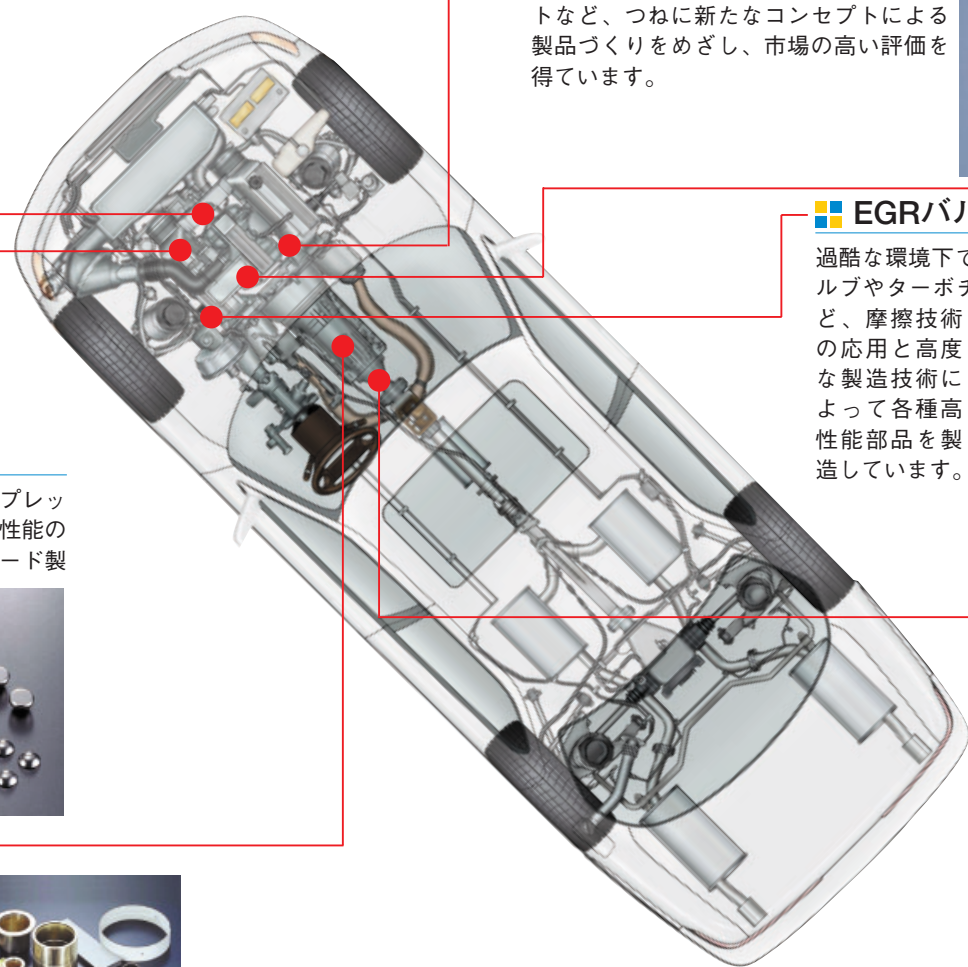
■ 電気電子部品

オートマチックトランスミッション用ソレノイドバルブの駆動部位であるコイルコアアッシーを生産。当社のコア技術であるすべり軸受を使用し、小型軽量かつ優れた樹脂成形技術により高い信頼性を確保しています。



■ 精密金型

焼結型、精密鋳造型、精密プラスチック成型など、多様な用途において極めて高精度を要求される精密金型を製造しています。



◎グローバルネットワーク

●大豊精機 株式会社



- ・事業内容
自動車製造用設備
自動車用部品
- ・売上高
253億6千6百万円

●日本ガasket 株式会社



- ・事業内容
ガasket製品等
- ・売上高
70億4千万円

●株式会社 ティーイーティー



- ・事業内容
金型
自動車用部品
- ・売上高
20億1千4百万円

●株式会社 タイホウ ライフ サービス

- ・事業内容
営繕、福利厚生事業
- ・売上高
8億1千8百万円

●株式会社 タイホウ パーツ センター

- ・事業内容
自動車用部品の梱包・物流
- ・売上高
3億4千3百万円

●大豊岐阜 株式会社



- ・事業内容
自動車用部品
- ・売上高
7億3千7百万円

●株式会社 タイホウ テクノ サービス

- ・事業内容
工場運営の改善、人材育成
- ・売上高
7千9百万円

● 工場
★ 駐在事務所

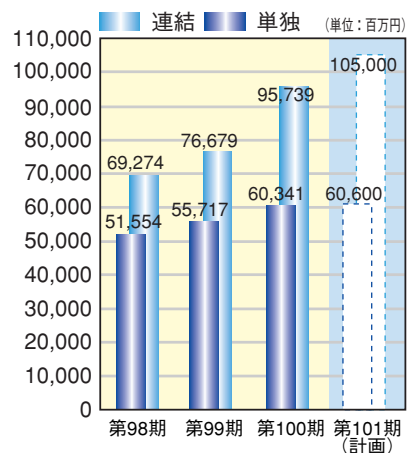
- ◆ デュッセルドルフ事務所 (ドイツ)
- ◆ タイホウ コーポレーション オブ ヨーロッパ 有限会社 (ハンガリー) ●売上高 21億7百万円
- ◆ タイホウ コーポレーション オブ アメリカ (米国) ●売上高 37億8千万円
- ◆ タイホウ タイランド株式会社 (タイ) ●売上高 9億1千5百万円
- ◆ タイホウ ヌサンタラ株式会社 (インドネシア) ●売上高 9億2千7百万円
- ◆ 大豊工業 (煙台) 有限公司 (中国) ●売上高 9億1千2百万円
- ◆ 韓国大豊株式会社 (韓国) ●売上高 10億1千9百万円
- ◆ ティーフ グローバル ガasket 有限会社 (米国) ●売上高 11億8千2百万円

欧州 アジア 日本 北米

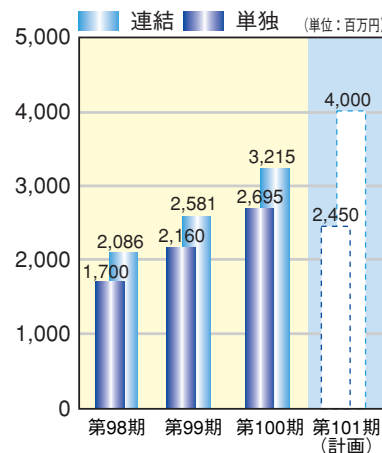
◎業績ハイライト

主な経営指標の推移

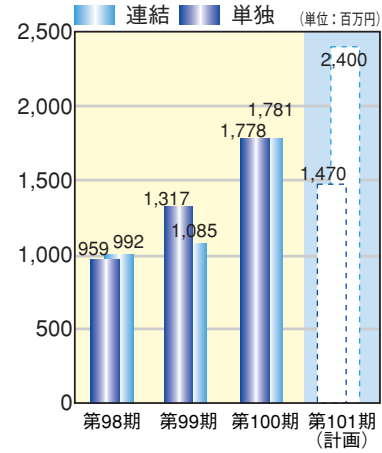
◆売上高



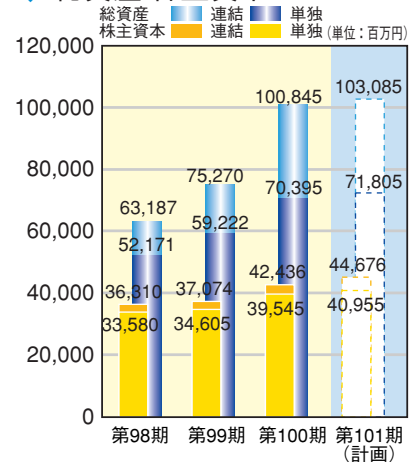
◆経常利益



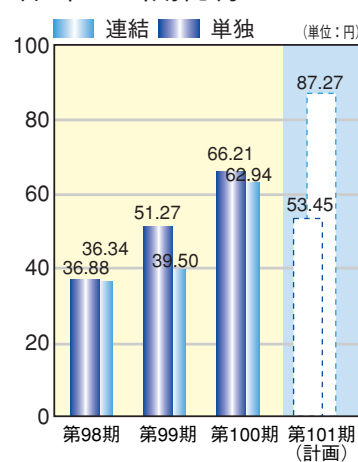
◆当期純利益



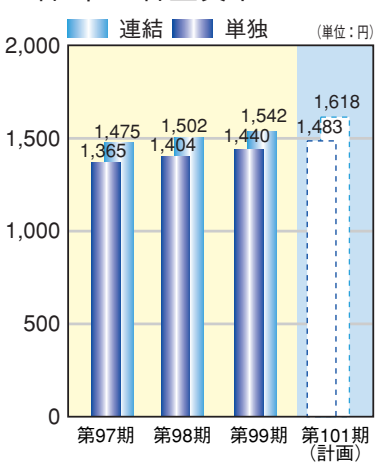
◆総資産/株主資本



◆1株当たり当期純利益

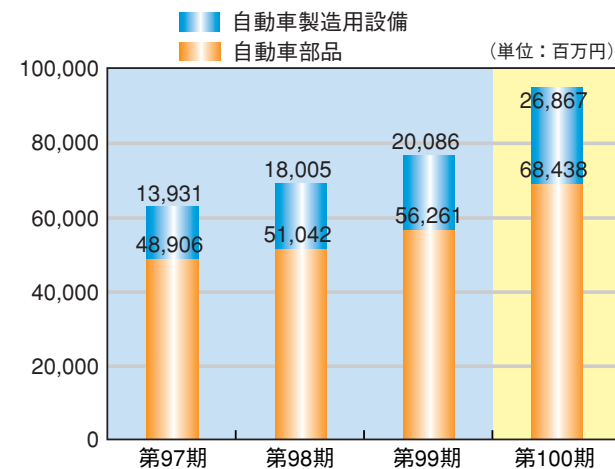


◆1株当たり株主資本

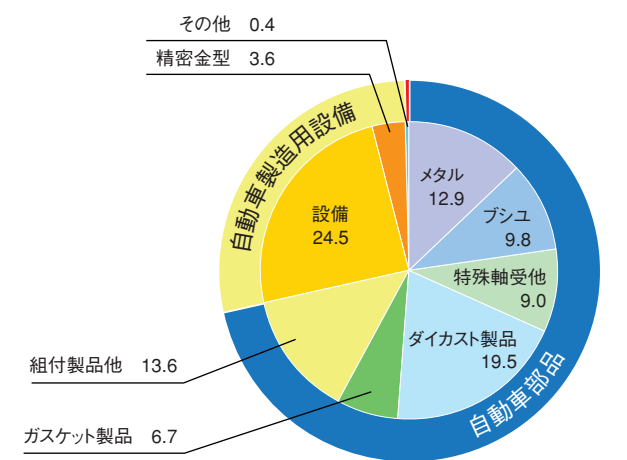


◎セグメント情報 (連結)

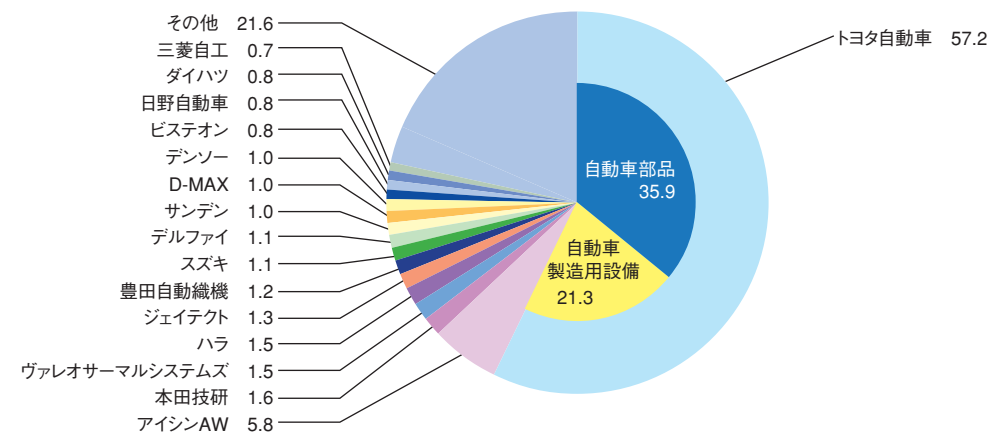
部門別売上高推移



製品別売上高構成



客先別売上高構成



◎連結決算の概要

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

資産の部		
科 目	当 期 H18.3.31現在	前 期 H17.3.31現在
流 動 資 産	45,815	30,854
現金預金	14,246	6,839
受取手形及び売掛金	19,829	15,517
有価証券	1,900	872
たな卸資産	7,042	5,376
その他	2,797	2,247
固 定 資 産	55,029	44,416
有形固定資産	48,521	37,026
無形固定資産	247	610
投資その他の資産	6,260	6,778
合 計	100,845	75,270

負債の部		
科 目	当 期 H18.3.31現在	前 期 H17.3.31現在
流 動 負 債	28,503	20,141
固定負債	28,511	16,875
社 債	16,000	10,000
退職給付引当金	2,999	3,127
その他の引当金	9,511	3,747
負 債 計	57,015	37,017
少数株主持分		
少数株主持分	1,393	1,179
資本の部		
資 本 金	5,762	5,726
資本剰余金	9,232	6,325
利益剰余金	26,071	24,886
その他有価証券評価差額金	870	448
為替換算調整勘定	681	9
自己株式	△ 182	△ 323
資 本 計	42,436	37,074
合 計	100,845	75,270

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科 目	当 期 H17.4.1から H18.3.31まで	前 期 H16.4.1から H17.3.31まで
売 上 高	95,739	76,679
売上原価	83,692	66,200
販売費及び一般管理費	8,915	8,129
営 業 利 益	3,131	2,348
営業外収益	671	578
営業外費用	588	345
経 常 利 益	3,215	2,581
特別利益	312	76
特別損失	305	208
税金等調整前当期純利益	3,223	2,449
法人税、住民税及び事業税	1,684	1,330
法人税等調整額	△ 346	△ 110
少数株主利益	104	143
当 期 純 利 益	1,781	1,085

キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科 目	当 期 H17.4.1から H18.3.31まで	前 期 H16.4.1から H17.3.31まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,120	5,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,810	△ 10,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,437	6,685
現金及び現金同等物に係る換算差額	327	△ 42
現金及び現金同等物の増減額	5,075	1,599
現金及び現金同等物の期首残高	7,221	5,621
新規子会社の現金及び現金同等物受入に伴う増加高	2,427	—
現金及び現金同等物の期末残高	14,723	7,221

◎単独決算の概要

貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

資産の部		
科 目	当 期 H18.3.31現在	前 期 H17.3.31現在
流 動 資 産	28,062	21,532
現金預金	8,268	4,372
受取手形及び売掛金	12,245	11,293
有価証券	1,799	872
たな卸資産	2,522	2,190
その他	3,226	2,803
固 定 資 産	42,333	37,690
有形固定資産	24,216	24,324
建物	3,944	4,141
機械装置	10,870	11,171
土地	7,605	7,447
その他	1,795	1,564
無形固定資産	119	132
投資その他の資産	17,997	13,234
投資有価証券	2,143	4,419
子会社株式・出資金	14,377	6,699
その他	1,475	2,115
合 計	70,395	59,222

負債の部		
科 目	当 期 H18.3.31現在	前 期 H17.3.31現在
流 動 負 債	12,025	11,515
支払手形及び買掛金	7,542	6,586
未払費用	812	1,611
未払の金	2,748	2,696
その他	921	621
固 定 負 債	18,824	13,102
社 債	16,000	10,000
退職給付引当金	2,686	2,971
役員退職慰労引当金	138	131
負 債 計	30,849	24,617
資本の部		
資 本 金	5,762	5,726
資本剰余金	9,418	6,325
利益剰余金	23,749	22,474
株式等評価差額金	636	401
自己株式	△ 21	△ 323
資 本 計	39,545	34,605
合 計	70,395	59,222

損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科 目	当 期 H17.4.1から H18.3.31まで	前 期 H16.4.1から H17.3.31まで
売 上 高	60,341	55,717
売上原価	51,913	47,884
販売費及び一般管理費	6,202	6,093
営 業 利 益	2,225	1,738
営業外収益	841	667
営業外費用	371	246
経 常 利 益	2,695	2,160
特別利益	19	8
特別損失	60	122
税引前当期純利益	2,653	2,046
法人税、住民税及び事業税	925	796
法人税等調整額	△ 49	△ 67
当 期 純 利 益	1,778	1,317
前期繰越利益	533	420
中間配当額	223	196
当 期 未 処 分 利 益	2,088	1,541

利益処分

単位：円

科 目	当 期	前 期
当期未処分利益	2,088,903,646	1,541,770,715
特別償却準備金取崩額	13,136,329	9,582,043
合 計	2,102,039,975	1,551,352,758
これを下記のとおり処分いたします。		
株主配当金	246,709,989	221,367,087
	(1株につき9円)	(1株につき9円)
取締役賞与金	53,896,000	48,322,000
監査役賞与金	10,317,000	10,124,000
特別償却準備金繰入額	33,685,091	17,723,355
別途積立金	1,100,000,000	720,000,000
次期繰越利益	657,431,895	533,816,316

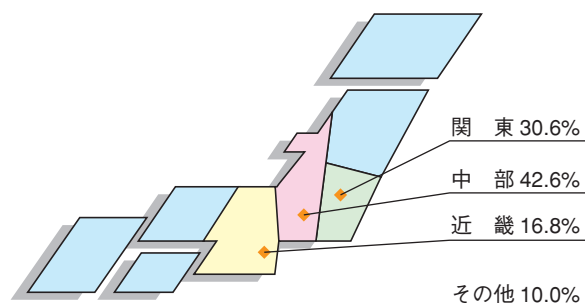
(注) 平成17年11月25日に1株につき9円
(総額223,256,115円)の中間配当を実施いたしました。

◎株式の概況 (平成18年3月31日現在)

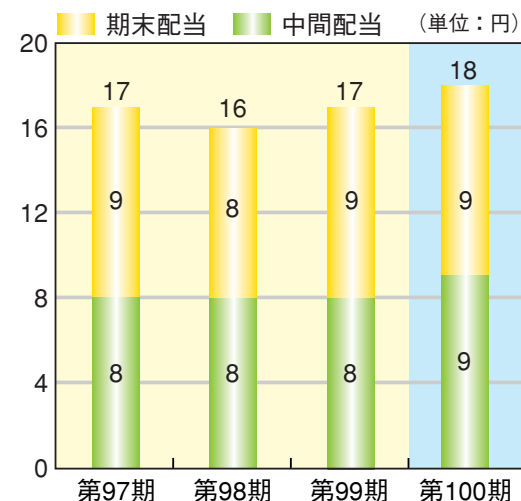
- 会社が発行する株式の総数 48,400,000株
- 発行済株式総数 27,433,490株
- 株主数 5,773名
- 大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)
トヨタ自動車株式会社	9,676
株式会社豊田自動織機	1,427
日本発条株式会社	1,344
豊田通商株式会社	1,071
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	807
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	505
エフビーエルオーピーシーブイエムアカウント	476
大豊工業従業員持株会	412
野々山 秀夫	305
柴田 幸子	256

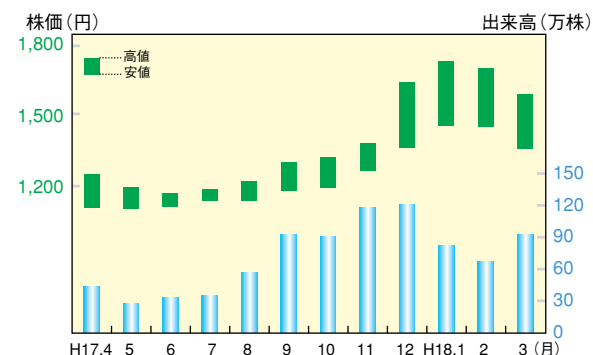
● 株主の地域別分布



● 1株当たり年間配当金



● 株価チャート (月足)



◎会社の概況 (平成18年3月31日現在)

会社概要

創業 昭和19年1月
 資本金 57億6千2百万円
 従業員数 1,394名
 本社所在地 〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65
 TEL (0565) 28-2225 (代表)
 事業内容 軸受製品、ダイカスト製品、ガasket製品、組付製品他、精密金型
 上記製品の製造および販売

事業所および営業所

- 本社/本社工場 (愛知県豊田市)
- 細谷工場 (愛知県豊田市)
- 篠原工場 (愛知県豊田市)
- 九州工場 (鹿児島県出水市)
- 春日井工場 (愛知県春日井市)
- 幸海工場 (愛知県豊田市)
- 土岐工場 (岐阜県土岐市)
- 東京営業所 (東京都中央区)
- 大阪営業所 (大阪府大阪市淀川区)
- 静岡営業所 (静岡県掛川市)
- デュッセルドルフ事務所 (ドイツ)

主な子会社

大豊精機株式会社
 株式会社ティーイーティー
 株式会社タイハウライフサービス
 株式会社タイハウテクノサービス
 株式会社タイハウパーツセンター
 大豊岐阜株式会社
 日本ガasket株式会社
 タイハウコーポレーションオブアメリカ
 タイハウヌサンタラ株式会社
 タイハウコーポレーションオブヨーロッパ有限公司
 韓国大豊株式会社
 大豊工業(煙台)有限公司

主な関連会社

日本メタルガasket株式会社
 ティーフグローバルガasket有限公司
 ヤマテ工業株式会社
 タイハウタイランド株式会社

役員

平成18年6月21日現在

取締役社長	高橋 清	八孝
取締役副社長	福田 弘	義紀
専務取締役	河合 和	幸生
専務取締役	天野 喜	夫敏
常務取締役	齋藤 和	敏則
常務取締役	熊田 秀	一彦
取締役	野々山 秀	謙隆
取締役	柴田 和	彦満
取締役	野村 義	隆廣
取締役	山崎 謙	則樹
取締役	近藤 隆	成武
取締役	末田 文	
取締役	河野 雅	
取締役	松野 嘉	
常勤監査役	能瀬 山	
監査役	葉山 藤	
監査役	伊藤 木	